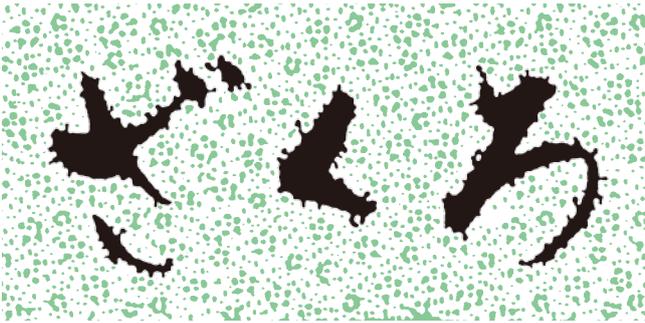


第50号

令和6年3月31日 発行

発行者 山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会
事務局 山梨県甲府市川田町506
県立青少年センター別館内
TEL 055-226-0924
FAX 055-226-0925



山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会

新たな試み



山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会

会 長 山 田 弘 之

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し規制が緩和され、約4年間活動できなかつた期間を取り戻すかのように地域での伝統行事やお祭り、スポーツ大会などが活発に行われた報告を見受けられました。

当協議会活動においては、「愛宕山こどもフェスティバル」、「センター祭り」へ参加、夏休みにキャンプ事業「ふるさと子どもランドカーニバル」を2泊3日で実施し、今年は県外リーダー「あゆ」、「マリオ」の力を借りて3日間の計画を無事に終えることが出来ました。

また、10月には初めての試み「子どもクラブ親睦男女混合ドッジボール大会」を開催しました。長年にわたりソフトボール大会を実施しておりましたが、参加チーム数の減少問題から誰でも参加できる、子どもたちが遊びの中でやっている「ドッジボール」へ種目を変更したのち、コロナで計画がなかなか進まず、ようやく実現することができました。

低学年の部3チーム、高学年の部3チームの参加があり、山梨県ドッジボール協会へ審判を依頼し、子どもたちのパワーに圧倒されつつも、保護者の方々の声援も熱く、熱気にあふれた大会になりました。

同月には「関ブ育成研究協議会埼玉県大会」があり、令和6年度に山梨県大会を開催するため、視察を兼ねて18名参加しました。山梨県大会では、スローガン「つなげよう未来に やまなしから新たな出発！」をかかげ、今までとは違うスタイルの大会を計画、挑戦してまいりますのでまた、皆様のご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、各事業にご協力いただきました役員の皆様に感謝申し上げ、子どもクラブ活動に活気が戻ることを祈願し、挨拶とさせていただきます。

令和5年度 全国子ども会会長表彰

羽黒地区子どもクラブ会長

石 合 修 (甲 府 市)



愛宕山こどもフェスティバル

- 期 日 令和5年5月5日(金・祝)
- 会 場 愛宕山こどもの国
- 参加者 県子連指導者・甲府市子連指導者

愛宕山こどもの国がリニューアルオープンし、初めてのこどもフェスティバルということもあって例年になく賑わいを感じました。小さいお子さんが遊べる遊具を増やしたり、芝を植えたり休憩スペースの設置など使いやすくなっていました。

子どもたちに人気の風車、割りばし鉄砲のクラフトでは、親子で取り組んだり、頑張って挑戦する姿やまた出来上がった時の笑顔が見られ、子どもの育成の一環として私たちの活動を続けていきたいと思えます。



第38回 夏休みふるさと子どもランドカーニバル

- 期 日：令和5年7月22日(土)～24日(月)
- 会 場：山梨県立八ヶ岳少年自然の家
- 参加者：県内子どもクラブ会員、指導者、ユースリーダー 計31名

コロナが第5類へ移行し、初めてのランドカーニバルでは安全を優先しテント泊はしない企画をリーダーが考え、今年は参加者も一緒に作るランドカーニバルを行いました。

初めのアイスブレイクから大きな声で大盛り上がり。2日目の冒険ハイクは班のみんなで協力しゴールを目指しました。夜のキャンプファイヤーでは、レクダンをパートごと各班で考え一つのものを作り上げました。みんなの笑顔がとても印象的なランドカーニバルになりました。

たのしかったキャンプの思い出

小学4年 床 下 愛 奈

わたしはキャンプファイヤーでおどって、たのしかったです。とくに歌がおもしろかったです。

ぼうけんハイクでケーブルサーキットがこわかったので、2番目でやりました。しんぞうが止まるかと思いました。

とまるとき、小さい照明があって、消すのをわすれていたの消しました。

マリオのへやに行き、ボウシに絵をかくてあそん



だりしました。とてもたのしかったです。

朝ごはん、昼ごはん、夜ごはんがとってもおいしかったです。それに、スイカも赤くておいしかったです。3こ食べておなかいっぱいだけど、のこってて、手が止まりませんでした。

ベッドをかたづけて、ざぶとんでねようと思ったけど、けっきょくベッドにねました。

とてもたのしかったです。また行きたいです。



リーダー

中学2年 武居美呼

私がこのイベントで心に残ったものは3つあります。

1つ目は、ナイトハイクです。班の仲間をまとめ、夜の森を探検しました。私は、知らない場所を歩いたりするのが好きなので、とってもワクワクしました。暗い場所を懐中電灯で照らして景色を見るのも、非日常感がして楽しかったです。

2つ目は、冒険ハイクです。私にとってこれが3回目でした。特にケーブルサーキットが楽しかったです。暗夜行路も、見えないだけでもドキドキしました。

3つ目は、人間スゴロクです。仲間たちが書いた難題を突破するのが楽しかったです。私が書いた題もみんなやってくれて嬉しかったです。

私はこのイベントに参加したとき、私が後輩たちを引っぱっていけるのか心配でした。でも、このイベントに参加してから、仲間たちを引っぱっていくのが楽しくなりました。

最後に。この経験を学校生活や社会に生かします。感想文を書くのは難しいですが、書いてみました。今後も精進していきます。ありがとうございました。

皆と過ごしたランドカーニバル

小学6年 吉村莉緒

私は今年、「夏休み子供ランドカーニバル」に参加してみました。知っている人や初めましての人など、色々な人がいました。

班分けで2班になった私は、とってもドキドキしていました。でも、レクや楽しい時間を通して、班の人と仲良くなるのは難しいことではなかったです。

レクも終わって夕食。私は食事係なので手伝いに行きました。夕食では、班で雑談をしながら食べました。班の人と食べるご飯はおいしかったです。

半日もあった時間が終わるのは、あっという間でした。お友達とねるのは、修学旅行以来です。でも、女子部屋でおしゃべりをしたりするのは楽しかったです。

2日目は、主にぼうけんハイクをしました。12このアスレチックをクリアしていくハイキングです。5つ目のスライダー(?)では、私も班の人もさけんでいたりして楽しかったです。

ヤッホーの丘では、さけんでみました。意外に大きな声が出せたのでびっくりしました。

2日目のラスト。キャンプファイヤーでは、レクをしたり、自分達で作ったダンスをおどりました。火の神様のぎしきでは、4つの火をもらっていました。明日で終わってしまうことに、少しさみしかったです。

最終日の3日目は、レクをしました。人間スゴロクという遊びで、とっても楽しかったです。1人1人がコマを作って、それをみんなで遊ぶというものです。最後のレクにふさわしいレクでした。

こうしてランドカーニバルは終わりました。初めて会った人と、3日でこんなに仲良くなれるなんて



思っていませんでした。この友達と過ごした時間は、私の一生の宝物になると思います。

はじめの一步

リーダー 森 夢音

私は、初めてリーダーとして企画や運営に携わり、貴重な経験をすることができました。参加者からリーダーになり、不安が大きかったが、他のリーダーや参加者の声や姿に助けられ、無事に3日間を終えることができた。

初めて会い、参加者を知らない状況での関わり方や伝え方は難しく、コミュニケーション能力や人を知る力の大切さを改めて感じた。リーダーとして指揮を執らなければならないが、人と人との関係づくりも怠ってはならない。子どもと大人と区別せず、一緒に過ごす仲間として関わりながらも、リーダーとして一步引いて全体を見て行動することが大切だろう。また、リーダー同士がそれぞれの立場で臨機応変に行動することや、連携することの大切さを学んだ。参加者に、様々な人がそれぞれの関わり方をすることで、安心して活動に参加できると感じた。

この3日間を振り返ると、目の前のことに必死で、参加者の姿や声に臨機応変に対応できなかった。視野を広く持ち、気づいてすぐに行動することができ



れば、さらに楽しむ活動にできただろう。また、細やかな企画や、リーダー同士の情報共有、イメージトレーニングも必要だったと考える。これ以外にも多くの課題がでたが、課題をどのように解決するのか今後に活かすかを、自分で考えたり、リーダー同士が共有したりして、安心して安全に過ごし、楽しみながら学ぶことができるキャンプを参加者が作れるように、リーダーがどのように関わっていくことが大切なのかを考えていきたい。

最後になりますが、夏休みふるさと子どもランドカーニバルを開催するにあたり、山田会長をはじめとする指導員の皆様、参加者の保護者の皆様、多くの方にご協力いただいたことに感謝を申し上げます。

第50回関東甲信越静地区子ども会ジュニアリーダー研修会 (新潟県)

- 期 日：令和5年8月4日(金)～6日(日)
- 会 場：新潟県国立妙高青少年自然の家
- スローガン：3UP(hook up follow up make up)
- サブタイトル：妙高の自然の中で学年を超えて友だちの輪を広げよう

今年は猛暑日と重なり、暑い中の研修会となりました。プログラム内容としては、野外炊飯では災害への対応とし防災食作り、研修としてはオリジナルTシャツ作りをし3日間楽しく研修ができるように内容が工夫されていました。

関ブロを終えて

加藤 琉衣

新潟県で行われた3日間の研修を通して様々な学びを得ることができました。またJL2年目の私にとって、他の方よりも知識や経験が少ないためはじめは不安に感じていましたが、3日間全てにおいて

とても楽しく充実していました。

今回の研修を通して、自分の知らなかったレクやリーダーとして大切なことを学ぶことができました。

- レクについて
行き帰りのバスや、妙高アドベンチャー、キャンプ



ファイヤー、班での交流などで、簡単にどこでもできるレクから体を動かすレク、レクダンなどにかく沢山のレクを知ることができました。また知るだけでなく対象とする相手、そのレクをする目的や効果も学ぶことができたのでこれからの活動に生かしていきたいです。個人的に、スーパーマリオゲームとハイテンションコールが印象に残っています。スーパーマリオゲームはバス内でなとさんから教えて頂き山梨のメンバーと行いました。全員で声を出して楽しめるレクで、小学生や中学生に向けてやってみてみたいと思いました。

ハイテンションコールは、初めて実際にみて圧倒されました。その場にいる人たちのなかで一体感が生まれ、気持ちをひとつにすることができ素晴らしいと思いました。

●リーダーとして大切なこと

3日間とにかく大切だと感じたのは、時間を見ることと周りの状況を把握するという事です。リーダーは、10分前行動を意識しなければなりません。そのためには常に時間を確認、しおりや予定を確認することがとても大切だと改めて感じました。

また周りをよくみて、今誰が何をしているのか、自分は何をしなければいけないのか、ということを考えて行動することも大切です。今回の研修はリーダーの集まりでしたが普段は小学生や中学生を対象とした活動も多くあります。そんな時、自分の作業だけに集中しているのではなく、周りの状況を把握して行動する必要があると感じました。

以前から大切だと知っていたことも、いざ行動するとなるとさらにその重要性をかんじることができとても良い機会となりました。

●3日間の反省点

周りのテンションに圧倒されて、普段よりも消極的になってしまったことです。もともと初対面の人とでも話せるタイプですが、今回は周りのコミュニケーションとテンションの高さに圧倒されてしまいなかなか積極的に行動できませんでした。今思うと、もっと自分から話しかけにいき、意見をいい、交流を深めるべきだったと反省しています。また、自分の不注意さを強く感じました。

活動の中で、物を無くしてしまうことがあり多くの方に迷惑をかけてしまいました。自分だけの問題ではなく、周りの方にも影響してしまうのもっと落ち着いて行動していきたいと思っています。

今回、関ブロに参加して本当によかったと思いました。住む場所や年齢を越えて、沢山の人と交流することができとても楽しかったです！様々な学び、出会いがありとても貴重な体験をすることができました。

そして、学んだことを今後の活動に生かしていき、さらにより良いものにしていきたいです。機会があれば、また来年もぜひ関ブロに参加したいです！

この3日間のために計画、準備して下さった皆様、なとさんやその他の県の指導者の方々、そして関ブロに参加した10県のリーダーの皆さんに本当に感謝しています。ありがとうございました！

レクの大切さ

吉 沢 柊 人

私はこの大会に参加して地域間の活動のギャップを感じた。私の地域では講義を中心とし、ジュニアリーダー（以下JLと表記）自身を地域貢献できる





人材に育成する活動をしているのに対し、他の地域ではレクを中心として子どもと交流し、直接地域の活性化に貢献している地域が多かった。

実際、大会に参加する中で、多くの地域がレクを共有しているが、私の地域では共有できるレクがないため、会話についていけない事に初めは少し疎外感を感じてしまった。

しかし、そのような不安も数時間で杞憂となった。あの場にいた多くがレクに慣れていたこともあり、初めのアイスブレイクであっという間に打ち解けてしまった。自分の地域ではJL同士の交流が少ないため、1年間全く話す仲間がないこともよくある。そこで、私はレクの持つ人を繋ぐ能力を痛感した。

結果的に3日間で多くの地域のJLと親密な交流ができた。そして、交流の中でお互いの地域の活動について話すことが出来た。その中で、学んだレクの活用法を教えてもらった。自分の地域でも、まずはJL同士の交流の活発化、果ては子どもたちとの交流を通じた地域活性化のために、レクを取り入れた活動をしたと思う。

～最高の思い出～

五味佳凛

～バスの中～

1日目はバスの中で「iPhone」「かちゅ」「世宗」「なとさん」と一緒にみみずの体操やクイズレク、スーパーマリオゲームをやったりしました！初めは結構静かだったけどレクを通して山梨のみんなとはすぐに仲良くなることができました！バスにいる時間は長いと思っていたけどレクをしたおかげで思っていたよりはやく自然の家に着くことができました(^o^)

～1日目～

1日目は開会式をしたあと活動班で分かれて妙高アドベンチャーをやりました。初めて会った人ばかりでしたが、ubuntuをやったり誕生日順に周りの人と一言も喋らずに並ぶゲームをやったりしました。特に楽しかったのは筒を使ってゴールまでみんなでボールを運ぶゲームです！みんなで協力しないと成功しないゲームは成功すると、とても嬉しかったです！お国自慢は少しハプニングがあったけど事前に考えていた原稿を思い出しながら自分なりに上手く発表することが出来ました。他の県の活動についてもたくさん知ることが出来たのでとても勉強になりました。部屋ではなかなか眠れなかったけど他県の人と仲良くなって楽しく過ごすことができました！1日目はとても充実していて楽しかったです。

～2日目～

2日目は朝ラジオ体操をした後朝食を食べて奉仕活動をしました。使わせてもらった施設を丁寧に掃除し、きた時よりも綺麗にすることができました！防災食づくりは焼きそばを班のみんなで作りしました。みんなで協力して大量の野菜を切ったり麺を茹でたりしました。ビニール袋が切れて味無しの焼きそばになってしまったものもあったけど、みんなで作った焼きそばはとても美味しかったです！

オリジナルTシャツ作りは炊事棟の帰りに好きな葉っぱを取りながらクラフトルームに行きました。班ごと机でTシャツに絵の具をつけた葉っぱで模様を作りしました！普段経験しないことだったのでとても楽しかったです。

キャンプファイヤーは初めての体験だったけど、みんなでたくさんレクリエーションをできてとても楽しかったです。他の県のレクを覚えることができました♪



部屋ではみんなでぐっすり眠ることができました。
2日目もとても楽しかったです！

～3日目～

3日目は各班でまとめ発表をやったあとすぐに閉会式でした。新しくできた友達にサインを書いてももらったり、一緒に写真を撮ったりして最後まで楽しみました！

帰りのバスではすごく眠かったです。パーキングで卓球をやったりチョコレートかき氷を食べたのもとても思い出に残っています！

この3日間はとても貴重な経験ができました。そして最高に楽しかったです！！

来年は受験生になるので参加できるかわからない

けど、勉強を頑張って参加できるといいなあと思います。



第48回山梨県子どもクラブ親睦球技大会 (ドッジボールの部)

●期 日：令和5年10月9日（祝・月）

●会 場：旧相生小学校 体育館

ソフトボール大会の参加チーム数の減少から、ドッジボール大会へ移行し初めての大会となりました。昭和町は地区大会の代表チーム、甲府市は2地区の子どもクラブからの参加となり、白熱した試合でした。

	低学年の部
優勝	西条1区ひき肉隊（昭和町）
準優勝	楽しみ（甲府市）
第3位	西条1区ポテト隊（昭和町）

	高学年の部
優勝	勝つぞ（甲府市）
準優勝	負けないよ（甲府市）
第3位	清水新居子どもクラブ（昭和町）



第55回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会（埼玉県）

●期 日：令和5年10月22日(日)～23日(月)

●会 場：ウェスタ川越

スローガン「聞こう子ども達の声 話そう子ども会の未来を!!」

スローガン「子どもを地域で育てる！」

シニア世代をも巻き込んだ子ども会活動の再確認!!」

今年度の大会は、コロナが第5類へ移行後の大会となりましたが参加者数が210数名と少ない印象でした。基調講演では全国子ども会連合会の杉浦隆事務局長から「子ども会の歩みとこれからの子ども会活動」をテーマに子ども会活動の活性化に参考となる著名人の話を交えながら興味深い話を聞きました。分科会では関プロ推進研究会のメンバーが中心となり、山梨県では名取洋美 JL 育成部長が第3分科会「未来に向けた子ども会広報」を担当しました。閉会式では、次年度開催県の山梨県・山田弘之会長が大会旗の引継ぎを受けました。



第56回全国子ども会育成中央会議・研究大会（北海道）

●期 日：令和5年10月27日(金)～29日(日)

●会 場：京王プラザホテル札幌

テーマ「これからの子ども会 子どもたちと地域の未来に向けて」

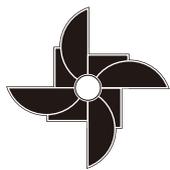
全国子ども会連合会は子ども家庭庁を発足し動き始めた今大会。地域とのつながりを重要視し記念講演では、中塚尚子氏の精神科医からの目線で「子どもの心をのぞいてみれば～地域医療から見る問題点と対策」の講演がありました。また分科会では、9つのテーマに分かれ協議し自県での活動、これからの子ども会の役割についてとても参考になりました。



令和5年度 県子連安全会加入状況表

令和6年2月29日現在

市町名	クラブ数	幼 児	小学生	中学生	高校生	指導・育成者	合 計
甲 府 市	319	1,274	5,118	2,590	403	3,644	13,029
山 梨 市	55	45	1,292	708	7	581	2,633
韮 崎 市	26	123	619	324	0	492	1,558
北 杜 市	113	146	1,281	713	20	1,012	3,172
甲 斐 市	92	321	3,416	1,692	118	1,134	6,681
甲 州 市	27	8	384	189	0	64	645
中 央 市	55	150	1,149	552	29	416	2,296
市 川 三 郷 町	25	31	223	158	3	286	701
南 部 町	14	1	159	94	0	53	307
昭 和 町	12	8	1,315	142	0	273	1,738
富士河口湖町	8	8	309	53	0	59	429
身 延 町 八日市場育成会	1	0	6	6	0	2	14
南ア市小笠原 2丁目子どもクラブ	1	0	11	4	0	9	24
南ア市西吉田 子どもクラブ	1	0	51	27	0	0	78
南ア市古市場 子どもクラブ	1	17	63	26	1	113	220
南ア市飯野支部 育 成 会	11	23	199	87	4	221	534
南ア市曲輪田 子どもクラブ	1	0	29	22	0	6	57
県 子 連	1	0	0	0	0	19	19
合 計	763	2,155	15,624	7,387	585	8,384	34,135



伸ばそう 生かそう 子どもの力



この「ざくろ」の作成費用の一部は、赤い羽根共同募金配分金により発行されています。